

## 30日 火曜

マルコ

10:32 さて、一行はエルサレムに上る途上にあった。イエスは弟子たちの先に立って行かれた。弟子たちは驚き、ついて行く人たちは恐れを覚えた。すると、イエスは再び十二人をそばに呼んで、ご自分に起ころうとしていることを話し始められた。

10:33 「ご覧なさい。わたしたちはエルサレムに上って行きます。そして、人の子は、祭司長たちや律法学者たちに引き渡され、彼らは人の子を死刑に定め、異邦人に引き渡します。」

10:34 異邦人は人の子を嘲り、唾をかけ、むちで打ち、殺します。しかし、人の子は三日後によみがえります。」

10:35 ゼベダイの息子たち、ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。「先生。私たちが願うことをかえっていただきたいのです。」

10:36 イエスは彼らに言われた。「何をしてもほしいのですか。」

10:37 彼らは言った。「あなたが栄光をお受けになるとき、一人があなたの右に、もう一人が左に座るようになりたい。」

10:38 しかし、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、自分が何を求めているのか分かっていますか。わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることができますか。」

10:39 彼らは「できます」と言った。そこで、イエスは言われた。「確かにあなたがたは、わたしが飲む杯を飲み、わたしが受けるバプテスマを受けることになりました。」

10:40 しかし、わたしの右と左に座ることは、



わたしが許すことではありません。それは備えられた人たちに与えられるのです。」  
10:41 ほかの十人はこれ聞いて、ヤコブとヨハネに腹を立て始めた。

10:42 そこで、イエスは彼ら呼び寄せて言われた。「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者と認められている者たちは、人々に対して横柄にふるまひ、偉い人たちは人々の上に権力をふるっています。」

10:43 しかし、あなたがたの間では、そうであってはなりません。あなたがたの間で偉くなりたいたいと思う者は、皆に仕える者になりなさい。

10:44 あなたがたの間で先頭に立ちたいと思う者は、皆のしもべになりなさい。

10:45 人の子も、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。」

イエス様が十字架の苦難のことを話されたにもかかわらず、彼らは本当の価値観を悟らずに、逆の思いを持っていました。イエス様はこの世の権力や賞賛よりも、むしろさげすまれるような道を選び、それによって十字架の救いを全うしようと、この世の権力を手にいれようと期待していただけでした。

イエス様を信じる信仰とは、信仰のない人の価値観とは違う生き方を選択することになります。決して自分の得になることを求めるのではありません。偉い人になるよりもむしろ仕える者になるのが、本当の信仰なのです。

この世の地位や評判に関係なく、謙遜に仕える者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は赦おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

